

一部ヲ隠匿シ或ハ已レノ利益ト為シタル者
ハ盜罪ヲ犯シタルト為シ其刑ニ處セラル可シ
第二百七十七條 左ニ記スル五箇ノ景状ヲ合
シ盜罪ヲ犯シタル者ハ無期ノ徒刑ニ處セラ
ル可シ

第一 夜間盜罪ヲ犯シ
第二 二人以上ニテ盜罪ヲ犯シ
第三 盜者數人又ハ一人露提ノ兵器及ヒ
暗藏ノ兵器ヲ携ヘタル時

第四 盜者人ノ居住シ或ハ居住ス可キ家
屋又ハ房室或ハ其家屋ニ屬スル房
舎ノ外部ヲ破壊シ或ハ攀援シ或ハ
偽鑰ヲ用ヒ其家屋或ハ房室或ハ房
舎内ニ於テ其罪ヲ犯シ又ハ文武官
吏ノ衣服ヲ借用シ或ハ官吏ノ命ヲ
偽リテ其罪ヲ犯シ

第五 暴行ヲ為シ又ハ兵器ヲ用ヒシト脅
迫シテ其罪ヲ犯シ

第二百七十八條 暴行ヲ為シ且ツ前條ニ記シ
タル五箇ノ景状中其最初ノ二箇ヲ合シ盜罪

ヲ犯シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ
又前條ニ記シタル五箇中其一ノ景状ナシト
雖モ暴行ヲ為シテ盜罪ヲ犯シ其暴行ニ曰リ
人ニ傷痕ヲ遺シタル者ハ無期ノ徒刑ニ處セ
ラル可シ

第 二 百 七 十 九 條 夜間露提ノ兵器ヲ携ハタル
一人又ハ數人道路ニ於テ盜罪ヲ犯シ又ハ晝
間第 二 百 七 十 七 條ニ記シタル五箇ノ景状中
其二箇ヲ合シ道路ニ於テ盜罪ヲ犯シタル時

第 二 百 八 十 條 人ノ住居スル為メニ非ス且ツ

人ノ住居スル場処ニ屬セスト虽モ墻堀植籬
編籬溝ヲ以テ繞圍ヲ為セシ場処ノ外部ヲ破
壞シ又ハ攀援シ又ハ偽鑰ヲ用ヒテ盜罪ヲ犯
シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第 二 百 八 十 一 條 人ニ傷痕ヲ遺サス且ツ更ニ
他ノ景状アラスト虽モ暴行ヲ為シテ盜罪ヲ
犯シ又ハ暴行ヲ為サスト虽モ左ノ二箇ノ景
状ヲ合シ盜罪ヲ犯シタル者ハ亦有期ノ徒刑
ニ處セラル可シ

第一 夜間盜罪ヲ犯シ

第二 二人以上ニテ盜罪ヲ犯シ且ツ其中

一人又ハ教人兵器ヲ携帶シ

第二百八十二條 左ニ記スル場合中ノ一箇ニ

於テ盜罪ヲ犯シタル者ハ三年ノ時間禁錮ノ

刑ニ處セラレ可シ

第一 二人以上ニテ夜間盜罪ヲ犯シ又ハ

晝間二人以上ニテ人ノ住居スル場

所或ハ禮拜ノ為メ設ケタル場所ニ

於テ盜罪ヲ犯シ又ハ夜間一人ニテ

此等ノ場所ニ於テ盜罪ヲ犯シタル

時

第二 益間一人ニテ人ノ住居セサル場所

ニ於テ盜罪ヲ犯シタルト虽モ其犯

人露提或ハ隠藏ノ兵器ヲ携ハタル

時

第三 僕婢ノ其主家ニ於テ盜罪ヲ犯シ又

ハ其主家ニ來リシ者ニ對シ盜罪ヲ

犯シ又ハ其主人ニ隨行セシ家ニ於

テ盜罪ヲ犯シタル時又ハ工丁或ハ

商家ノ使用ヲ受クル者或ハ年季ノ
弟子其雇主ノ家屋製作場倉庫或ハ
其通常職業ヲ為ス場処ニ於テ盜罪
ヲ犯シタル時

第四 旅舎ノ主人水陸ノ運送人及ヒ此類
ノ各人或ハ更ニ此等ノ者ノ使用ヲ
受クル者其附託セラレシ物ノ全部
又ハ一部ヲ盜ミシ時

第二百八十三條 陸地運送人或ハ水路運送人

其搬運ヲ任セラレシ飲食品又ハ其他ノ商品
ニ人ノ害トナル物ヲ混合シテ改造シタル時

ハ亦三年間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ○又人
ノ害トナル可キ物ヲ混合セサル時ハ一月ヨ
リ少ナカラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮
ノ刑ニ處セラレ且ツ百ピアストルヨリ少ナ
カラス五百ピアストルヨリ多カラサル罰金
ヲ言渡サル可シ

第二百八十四條 田野ニ於テ物ヲ負戴セシメ
車ヲ挽カシメ騎行ニ用フル獸類或ハ大小ノ
家畜獸或ハ農業ノ器具ヲ盜ミシ者又ハ繞田

ヲ為サ、ル物置ニ在ル薪、建築ニ用フル木村、
石炭、半焼ノ石炭或ハ石礦ニアル石、池沼ニ在
ル魚或ハ水蛭ヲ盗ミシ者ハ一月ヨリ少ナカ
ラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
セラル可シ

第百八十五條 既ニ刈収シタル穀物或ハ地
ヨリ産スル有益ノ各物或ハ堆積セシ穀物ヲ
盗ミタル者ハ二十四時間ヨリ少ナカラス三
月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル
可シ又夜間二人以上ニテ右ノ盗罪ヲ犯シ
又二人ニテ車或ハ獸類ヲ用ヒ右ノ盗罪ヲ犯
シタル時ハ其禁錮ノ刑期ヲ増シテ一年ト為
スヲ得可シ

第百八十六條 未タ地ヨリ刈収セサル穀物
或ハ地ヨリ産スル有益ノ各物ヲ籃或ハ囊及
ヒ此類ノ物ヲ用ヒ或ハ車及ヒ獸類ヲ用ヒ或
ハ二人以上ニテ盗ミタル時ハ其犯人八日ヨ
リ少ナカラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮
ノ刑ニ處セラル可シ○又前文ニ記スル景状
アラスシテ右ノ盗罪ヲ犯シタル時ハ其犯人

二十四時^間ヨリ少ナカラス一週ヨリ多カラサ
ル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第百八十七條 盜罪ヲ犯ス為メ土地ノ境叟

ヲ為ス物ヲ除去シタル者ハ十五日ヨリ少ナ
カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ
處セラル可シ

第百八十八條 鑰又ハ其他鎖ヲ開ク可キ器

具ヲ用ヒ盜罪ヲ犯サンカ為メ鑰ヲ贋造変造
シ或ハ其他ノ器具ヲ造リタル者ハ三月ヨリ

少ナカラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
刑ニ處セラル可シ但シ此規則ト特定ノ盜罪

ヲ犯ス為メ右ノ諸物ヲ造リシ者ヲ其相当ノ

刑ニ處ス可キ規則ト相觸ル、^ナナカル可シ

若シ右ノ犯人鎖匠ヲ以テ職業ト為ス時ハ有

期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第百八十九條 暴行ヲ為シテ人ヨリ義務ノ

証書或ハ義務ヲ尽クシタル証書ヲ奪ヒ又ハ

暴行ヲ為シ人ヲシテ強ラ此類ノ証書ニ姓名

ヲ手署シ或ハ鈐印セシメタル者ハ有期ノ徒

刑ニ處セラル可シ

第百九十一條 此章ニ記列セサル竊盜ノ罪ハ

三月ヨリ少ナカラス一年ヨリ多カラサル時

間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第百九十二條 此章ニ記シタル盜罪ノ犯人

ハ其刑期ノ終リシ後五年或ハ十年ノ時間政

府ノ監察ヲ受ケシムルヲ得可シ但シ註誤

ノ刑ニ處セラレタル犯人ハ其例ニ非ラス

第百九十三條 盜罪ヲ犯サント誡ニ為シテ

ル者ハ現ニ其罪ヲ犯シタルト同一ノ刑ニ處

セラル可シ

第九章

倒産ノ罪及ヒ詐偽ヲ以テ財

ヲ奪フ罪

第百九十四條 分散シタル商人故ラ其簿冊

ヲ隠シ或ハ之ヲ滅却シ又ハ其財産ノ一部ヲ

隠シテ債主ノ害ヲ為シタル時又ハ其書類積

書ニ目リ或ハ口上ヲ以テ詐認シタルニ目リ

或ハ証書類及ヒ辨明書ヲ故ラ出サハルニ目

リ其实ハ負フナキ債ヲ負フタリト自カラ

許認シ或ハ人ヲシテ許認セシメタル時ハ詐

偽ノ倒産ノ罪アリト看做ス可シ

第二百九十四條 通常法律上ニ定ムル同罪ノ
場合ノ外左ニ記スル者ハ詐偽アル倒産人ノ
同罪人タリト看做ス可シ

第一 分産人ニ利スル為メ其動産又ハ不
動産ノ全部或ハ一部ヲ隠シ又ハ他所ニ
搬運セシ者

第二 分産人ニ利スル為メ詐偽ヲ以テ分
産ノ訴訟手續ニ参加シ又ハ自己ノ名義
ヲ用ヒ或ハ他人ヲ々入セシメ偽ラ分散
人ニ貸セシ金高アリト述フル者

第三 他人ノ名義ヲ借り或ハ偽名ヲ称シ
シテ商業ヲ為シ此條ノ第一項ニ記スル
罪ヲ犯セシ者

第二百九十五條 詐偽ノ倒産人及ヒ其同罪人
ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第二百九十六條 分産人ノ配偶者其尊属及ヒ
卑属ノ血族並ニ姻族ノ親其分散人ト交通ス
ルヲナク分散人ニ属スル動産ノ全部又ハ一
部ヲ隠シ又ハ他所ニ搬運シタル時ハ盜罪
ノ刑ニ處セラル可シ

第二百九十七條 疎忽又ハ重キ過失ニ因リ其
債主ニ損失ヲ生セシメタル商人ハ通常ノ倒
産人ナリト看做ス可シ

第二百九十八條 左ノ諸件ハ疎忽又ハ重キ過
失ナリト看做ス可シ

第一 自カラ其商業ノ模様ヲ知り得可キ
簿冊ヲ送ケサル事

第二 自カラ其商業ノ模様ヲ知り過分ノ
金高ヲ借入レ或ハ過分ノ証券ヲ發出シ

或ハ家産ヲ衰頽セシム可キ所為及ヒ偶
生ノ事ニ管スル所為ヲ行フタル事

第三 過分ナル一身ノ費用又ハ家内ノ費
用ヲ為シタル事

第四 確固タル酬報ヲ得ス他人ノ為メ過
分ノ義務ヲ負フタル事

第五 高汰茅二十條及ヒ第二十三條ノ規
則ヲ遵守セサル事

第六 其金高ノ拂ヲ止メタル後其家産ノ
積書ヲ官署ニ出サ、ル事又ハ其金高ノ

拂ヲ止メタル後其商業ヲ繼續シタル事

第七 其金高、拂_フ止_メタル後債主中ノ一人ニ其負債ヲ償還シ他ノ債主等ノ為メ害ヲ為シタル事

第二百九十九條 通常ノ倒産人ハ一月ヨリ少ナカラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第三百條 左ノ者ハ亦前條ニ記スル刑ニ處セラル可シ

第一 財産ヲ管理スルニ過失アル分産管

財人

第二 分散評議ノ投言ヲ名ト為シ分産人

又ハ其他ノ者ト一己ノ利ヲ契約シ又ハ

債主全員ニ害ヲ加ヘ已レ一人ニ利ヲ得

可キ契約ヲ為シタル債主

第三百一條 前條ニ記シタル第二ノ場合ニ於

テ其罪アル債主ノ分散管財人タル時ハ二年

ヨリ少ナカラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ

可シ

第三百二條 何人ニ限ラス詐計ヲ用ヒ又ハ人

ヲシテ偽リノ起作或ハ偽リノ事柄アルヲ信

セシム可キ所為ヲ行ヒ又ハ無根、利益ヲ望
マシメ或ハ嘗テ一旦欺キ取りシ金高ノ償還
ヲ望マシム可キ所為ヲ行ヒ又ハ偽リノ義務
アリ或ハ偽リノ義務ノ解除アリシラ信セシ
ム可キ所為ヲ行ヒ又ハ偽リノ姓名或ハ偽リ
ノ身分ヲ称シテ金高、動産、義務、証書、義務ノ
解除ノ証書及ヒ其他ノ財産ヲ已レニ渡サシ
メ他人ノ財産ノ全部又ハ一部ヲ欺キ取りメ
ル者ハ三月ヨリ少ナカラス三年ヨリ多カラ
サル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ百ピアス
トルヨリ少ナカラス五千ピアストルヨリ多
カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

第十章 背信ノ罪

第三百三條 幼者ノ窮乏、怯心、情欲ニ乘シ其損
害トナル可キ方法ヲ用ヒ其幼者ヲシテ金銀、
動産ノ貸借証書ニ姓名ヲ手署セシメ又ハ高
業手形或ハ其他ノ手形類讓渡ノ証書ニ姓名
ヲ手署セシメタル者ハ其詭計ヲ為セシ方法
ノ如何ヲ問ハス二月ヨリ少ナカラス二年ヨ
リ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ

其幼者ニ其損害ヲ償還スルノ外其償還高ノ
四分一ヨリ多カラス百ピアストルヨリ少ナ
カラサル罰金ヲ言渡サル可シ○若シ其犯人
幼者ノ監察又ハ後見ヲ任セラレシ者タル時
ハ三月ヨリ少ナカラス三年ヨリ多カラサル
時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シハ前ニ全シ

第三百四條 人ノ姓名ヲ手署シタル白紙ヲ預
リ詐偽ヲ以テ其白紙ニ借入ノ証又ハ償還ノ
証ヲ記シ又ハ其他其白紙ニ姓名ヲ手署セシ

者ノ身分又ハ産業、為メ害トナル可キ証ヲ
記シタル者ハ六月ヨリ少ナカラス三年ヨリ

多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ五
百ピアストルヨリ少ナカラス五十ピアスト
ルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ
其犯人、人ヨリ右ノ白紙ヲ預リタルニ非ラス
之ヲ盜奪シタル時ハ贋造人ナリト看做シ其
刑ニ處セラル可シ

第三百五條 借受、附託、質入ノ為メ或ハ雇賃ノ
有無ヲ論セス人ニ代テ用ヲ達スル為メ人ヨ
リ動産、金銀、商品、手形、義務ノ証書、義務解除ノ

証書ヲ受取り後ニ其所有者或ハ他人ノ為メ
之ヲ示シ或ハ賣拂ヒ或ハ定マリシ用法ニ之
ヲ用フ可キニ若シ其約ニ背キテ此等ノ諸件
ヲ竊取シ又ハ已ノ益ニ用ヒテ其所有者ノ為
メ害ヲ為シタル者ハ二月ヨリ少ナカラス二
年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ
且ツ損害償還高ノ四分一ニ當レル罰金ヲ言
渡サル可シ

第三百六條 若シ人ノ使用ヲ受クル者、僕婢、年

季ノ茅子、エ丁ノ右背信ノ罪ヲ犯シ傭主ノ為
メ害ヲ為シタル時ハ一年ヨリ少ナカラサル
時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ損害ノ償還及
ヒ罰金ヲ言渡サル可シ

第三百七條 詐訟吟味ノ間証書類ヲ裁判所ニ
出シタル後之ヲ竊取シタル者ハ其方法ノ如
何ヲ問ハス百ピアストルヨリ少ナカラス千
五百ピアストルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡
サル可シ

第十一章 糶賣ノ自由ヲ妨クル罪及ヒ商
賣取引ニ於ケル詐偽ノ罪

茅三百八條 動産不動産ノ糶賣ヲ為シ又ハ起
作、供給、公務ノ入札ヲ為スニ當リ暴行脅迫ヲ
以テ其糶賣又ハ入札ノ前後ヲ尙ハス其自由
ヲ妨害シタル者ハ十五日ヨリ少ナカラス三
月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ
且ツ百「ピアストル」ヨリ少ナカラス一萬「ピア
ストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ
茅三百九條 故意ヲ以テ公ケニ詐偽或ハ讒誣

ノ風評ヲ流布シ又ハ賣主ノ期望スル價ヨリ
更ニ高價ヲ附ケ又ハ同一ノ商品ヲ所持スル
重立チタル者ヲ連合セシメ其商品ヲ賣ルヲ
停止セシメ或ハ特ニ定メタル價ヨリ更ニ廉
價ニ賣ルヲ妨ケ又ハ其他方法ノ如何ヲ尙ハ
ズ詐計ヲ用ヒ商品紙幣、國債証票ノ價ヲ貿易
ノ自由ニ因リ相競フテ自然ニ定マル可キ價
ヨリ更ニ低昂セシメタル者ハ一月ヨリ少ナ
カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ
處セラレ且五百「ピアストル」ヨリ少ナカラス
一萬「ピアストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡
サル可シ

第三百十條 若シ肉類、麩包、薪、石炭及ヒ其他必

要品ニ付キ前條ニ記スル詐計ヲ行フメル時

ハ前條ノ刑ヲ倍スルコトヲ得可シ

第三百十一條 何人ニ限ラス金銀材料ノ性合

ニ付キ人ヲ欺キ或ハ偽造ノ寶石ヲ真物ナリ

ト言ヒ賣渡シ或ハ其他ノ商品ノ性合ニ付キ

人ヲ欺キタル者又ハ贋造偽造ノ度量ノ具ヲ

用ヒ賣渡シタル品物ノ分量ニ付キ買主ヲ欺

キタル者ハ一月ヨリ少ナカラヌ一年ヨリ多

カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ損失

償還高ノ四分一ヨリ多カラヌ三十ピアスト

ルヨリ少ナカラサル罰金ヲ言渡サル可シ○

其贋造偽造ノ度量ノ具ハ之ヲ破毀ス可シ

第三百十二條 他人藏板ノ權ニ管スル法律及

ヒ規則ニ背キ書籍ヲ刷行シ或ハ刷行セシメ

又ハ一人或ハ會社ニ專賣ノ特權ヲ許ルシタ

ル物品ヲ造リ或ハ造ラシメタル者ハ偽造

第三百十三條 偽造ノ書籍又ハ物品ハ特權ア

ル者ノ為メ之ヲ沒收シ偽造者ハ五百ピアス

トハ異ナリノ罪アリトス

百茅

トルヨリ少ナカラス一萬ピアストルヨリ多
カラサル罰金ヲ言渡サル可シ又外國ニテ偽
造セシ書籍或ハ物品ヲ埃及國內ニ輸入スル
者ハ亦五百ピアストルヨリ少ナカラス一萬
ピアストルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル
可シ

右偽造ノ書籍又ハ物品ノ偽造タルヲ知テ之
ヲ賣リタル者ハ百ピアストルヨリ少ナカラ
ス二千五百ピアストルヨリ多カラサル罰金

ヲ言渡サル可シ

第三百十四條 又作者或ハ其讓受人ニ屬スル

技術ノ物品或ハ歌謡ノ書ヲ偽造シ又ハ規則
ニ循ヒ製造者ノミニ屬ス可キ製造記号ヲ偽
造シタル者ハ亦五百ピアストルヨリ少ナカ
ラス一萬ピアストルヨリ多カラサル罰金ヲ
言渡サル可シ

第三百十五條 前條ニ記スル偽造ノ技術物品

ヲ賣リ或ハ偽造ノ記号ヲ用ヒシ高品ヲ賣リ
タル者又ハ作者ノ權利ヲ害シテ公ケニ音樂
ヲ奏シ或ハ演劇ヲ為サシメタル者ハ百ピア

ストルヨリ少ナカラス二千五百ピアストルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

第十二章 賭博及ヒ富場ヲ開ク罪

第三百十六條 賭博場ヲ設ケテ衆人ヲ入ラシムル者又ハ其金主ハ一月ヨリ少ナカラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ百ピアストルヨリ少ナカラス五千ピアストルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

○賭博場ニ在ル財貨及ヒ動産ハ官ニ没収ス

第三百十七條

官許ヲ得スシテ富場ヲ設ケタル者ハ一月ヨリ少ナカラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ百ピアストルヨリ少ナカラス五千ピアストルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

○富場ニ在ル財貨及ヒ動産ハ官ニ没収ス可シ

真ノ仁恤ノ為メ設ケタル富場ニハ此條ノ規則ヲ通シ用フ可カラス

第十三章 滅尽破壊損害ノ罪

第三百十八條 何人ニ限ラズ他人ニ属スル農

業、器具、獸類、圍柵、看守人、小舎ヲ破壊滅
尽シタル者ハ一週ヨリ少ナカラス六月ヨリ
多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ損
失ノ償ヲ為ス可シ

第三百十九條 何人ニ限ラス已ムヲ得サルニ

非スシテ他人ニ屬スル馬或ハ其他車ヲ挽カ
シメ騎行ノ用ニ供シ、物ヲ載スル用ニ供ス可
キ獸類或ハ他人ニ屬スル其他ノ家畜獸ヲ故
ラニ殺シタル者ハ左ノ刑ニ處セル可シ

若シ其獸類ヲ蓄ヒ置キシ者、所有シ又ハ土

地借受人ノ所有スル家屋又ハ繞圍ヲ為シタ

ル場所又ハ其附属ノ場所又ハ其土地内ニ於

テ右ノ罪ヲ犯シタル時ハ一月ヨリ少ナカラ

ス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セ

ラル可シ

若シ犯人ノ所有シ又ハ借受ケシ場所ニ於テ

右ノ罪ヲ犯シタル時ハ一週ヨリ少ナカラス

一月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ

ル可シ

若シ總テ其他ノ場所ニ於テ右ノ罪ヲ犯シタ

ル時ハ十五日ヨリ少ナカラス一月半ヨリ多
カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第三百二十條 前條ニ記スル獸類又ハ池沼中

ノ魚ヲ毒ヲ以テ殺セシ者ハ三月ヨリ少ナカ
ラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
セラル可シ

第三百二十一條 第三百十八條第三百十九條

第三百二十條ニ記シタル總テノ場合ニ於テ

ハ其犯人二十^七ピアストルヨリ少ナカラス二
百^七ピアストルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サ
ル可シ

第三百二十二條 何人ニ限ラス他人ニ属スル

土地ノ境叟ヲ為ス溝渠ヲ填メ又ハ植籬或ハ
編牆或ハ其他ノ墻ヲ破^毀シタル者ハ一週

ヨリ少ナカラス三月ヨリ多カラサル時間禁
錮ノ刑ニ處セラレ且ツ損失償還ノ四分一
當レル罰金ヲ言渡サル可シ

第三百二十三條 水車製造所池沼ノ所有者或

ハ借主其水ノ疏水路ヲ規則ニ定メタルヨリ
更ニ他ノ形状ニ造リ直シ他人ニ属スル堤防

又ハ田野ニ其水ヲ流溢セシメタル時ハ損失償還高ノ四分一ニ当レル罰金ヲ言渡サル可シ

第三百二十四條 故ラ堤防ヲ毀テ又ハ其他ノ

方法ヲ以テ洪水ヲ起サシメタル者ハ無期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第三百二十五條 竈、奥竈、煙突、又ハ其他火ヲ用

フル處ノ掃除或ハ修復ヲ怠リ又ハ藁、枯草及ヒ其他ノ燃ヘ易キ物ヲ堆積シタル處ニ接近

セシ家屋、建物、森林、葡萄園、田野、園庭内ニ於テ火ヲ燃ヤシ又ハ府内ニ於テ煙火ヲ弄シ又ハ

其他懈怠疎忽ノ所為ニ因リ火ヲ失ヒシ者ハ

三日ヨリ少ナカラス一週ヨリ多カラサル時

間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ百ピアストルヨ

リ少ナカラス二百ピアストルヨリ多カ

ラサル罰金ヲ言渡サル可シ

第三百二十六條 何人ニ限ラス故意ヲ以テ他

人ニ屬スル家屋、建物、道路、橋梁、堤防、水樋及ヒ

其他總テ他人ニ屬スル建築物ヲ毀滅損壞シ

タル者ハ其方法ノ如何ヲ問ハス三月ヨリ少

ナカラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑
ニ處セラレ且ツ損失償還高ノ四分一ニ當レ
ル罰金ヲ言渡サル可シ若シ此罪ヲ犯スニ付
キ人ヲ殺シ又ハ創傷ヲ被ラシメタル時ハ人
ヲ殺スノ罪又ハ人ヲ創傷スル罪ニ相当ナル
刑ニ處セラレ可シ

第三百二十七條 何人ニ限ラス政府ノ命シ或
ハ允許セシ工業ノ成就ヲ故ナク暴行ニ目リ
妨ケタル者ハ一月ヨリ少ナカラス一年ヨリ
多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ損
失償還高ノ四分一ニ當ル可キ罰金ヲ言渡サ
ル可シ

第三百二十八條 何人ニ限ラス官署ノ簿冊証
書及ヒ其他ノ書類又ハ為替手形商業証券又
ハ其他之ヲ失フニ目リ他人ノ為メ損失ヲ生
セシム可キ書類ヲ故ラニ焼滅シ又ハ破毀
シタル者ハ其方法ノ如何ヲ問ハス一年ヨリ
少ナカラス三年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
刑ニ處セラレ且ツ百ピアストルヨリ少ナカ
ラス千五百ピアストルヨリ多カラサル罰金

ヲ言渡サル可シ

第三百二十九條

何人ニ限ラス二人以上相聚

リ暴行ヲ為シテ商品、動産、收納物ヲ掠奪破損

シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ又其

犯人ハ損失ノ償還ヲ言渡サレ且ツ其各人毎

ニ百^レピアストルヨリ少ナカラス五千^レピアス

トルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ然

レ凡人ニ煽動セラレ又ハ人ノ乞ニ應シ其郡

聚中ニ加ハリシ者ハ一年ヨリ少ナカラス三

年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル

可シ

第三百三十條

何人ニ限ラス未タ刈取セサル

穀物又ハ天然ニ生シ或ハ人工ヲ以テ植附ケ

タル樹木又ハ其他ノ植附物ヲ伐リ或ハ荒ラ

シタル者又ハ他人ニ属スル葡萄園或ハ園庭

ヲ荒ラシ或ハ接木ヲ損害シタル者ハ一週ヨ

リ少ナカラス十五日^誤ヨリ多カラサル時間

禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四卷 註誤

第三百三十一條 左ノ犯人ハ五^リピアストルヨ
リ少ナカラス二十五^リピアストルヨリ多カラ
サル罰金ヲ言渡サル可シ

警察規則ニ定メタル命令ニ従ヒ燈火^ヲ点ス
可クシテ之ヲ怠リシ旅舎ノ主人

道路ニ已ムヲ得サルニ非スシテ通行ノ安
寧又ハ自由ヲ害スル物ヲ置キタル者

市街或ハ巷路ニ品物ヲ置ク可キノ允許ヲ
受ケ又ハ水桶ヲ修復シ或ハ其他ノ工業

ヲ為スタメ人ノ往來スル場所ニ穴ヲ穿

ツ可キ允許ヲ受ケ通行人ニ注意セシム

可キ為メ又ハ不意ノ災ヲ防ク為メ燈火

ヲ点ス可キ規則ニ背キタル者

崩壊セントスル建物ヲ修復シ又ハ之ヲ~~毀~~毀

ツ可キ警察規則ニ背キタル者

道路ニ塵埃又ハ其他ノ障礙物ヲ置キ或ハ

健康ヲ害スル蒸発氣ヲ生ス可キ物ヲ置

キタル者

通行人ヲ傷ク可キ性質アル品物ヲ疎忽ニ
道路ニ擲テタル者

其他一般ニ邑官ノ権限内ニ於テ設ケタル
規則ニ背キタル者

茅三百三十二條 左ノ犯人ハ五「ピアストル」ヨ
リ少ナカラス二十五「ピアストル」ヨリ多カラ
サル罰金ヲ言渡サレ且ツ二十四時ヨリ少ナ
カラス三日ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ
處セラル可シ

火ヲ燒ク火爐、奥竈等ヲ掃除シ又ハ修復ス
ルニ怠リシ者

允許ヲ得スシテ市中又ハ其他人ニ損害ヲ
加フ可キ場所ニ於テ煙火ヲ弄シタル者
府邑ノ内部ニ於テ銃又ハ小銃ヲ発射シタ
ル者

茅三百三十三條 左ノ犯人ハ三十「ピアストル」
ヨリ少ナカラス百「ピアストル」ヨリ多カラサ
ル罰金ヲ言渡サル可シ
旅舎ニ泊セシ旅人ノ姓名ヲ簿冊ニ記スル
ヲ怠リ又ハ定期内ニ右簿冊ヲ掛リ官署

ニ差出スヲ急リシ旅舎ノ主人
人ノ往來スル場所ニ於テ馬ヲ放馳セシメ
者

己レノ監守スル狂癲者又ハ人ノ害ヲ為シ
或ハ猛烈ナル獸類ヲ放タシメシ者

國ノ貨幣ヲ其定メ通りノ價ニテ受取ル
ヲ肯セサル者

不意ノ災禍船ノ覆没破船洪水火災ノ場合
又ハ盜奪掠奪現行重罪又ハ衆人ノ声ヲ

登シ盜賊ヲ呼ビ追フ場合ニ於テ助カ
為ス可キノ求メテ受ケ之ヲ為シ得可キ
ニ正当ノ事故ナクシテ之ヲ肯セス又ハ
之ヲ急リシ者

人ノ健康ヲ害シ又ハ腐敗セシ樹葉又ハ其
他ノ食物ヲ販賣シタル者

但シ右販賣シタル物品ハ之ヲ滅却シ又
ハ海或ハ河ニ投ケ棄ツ可シ

第三百三十四條 人ニ創傷ヲ加フルヲナク故
意ヲ以テ石又ハ其他ノ堅キ物又ハ汚穢物ヲ
人ニ抛テシ者又ハ人ノ家屋建造物繞圍圍庭

ニ抛子シ者又ハ耕作ノ用意ヲ為シ或ハ種子
ヲ蒔キ或ハ穀艸ノ生シタル他人ノ田野ニ入
リ或ハ通行ノ權ナクシテ此等ノ処ヲ通行シ
タル者ハ三十^トピアストルヨリ少ナカラス百
^トピアストルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル
且ツ二十四時ヨリ少ナカラス五日ヨリ多カ
ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

茅三百三十五條 又左ノ犯人ハ五十^トピアスト
ルヨリ少ナカラス七十五^トピアストルヨリ多
カラサル罰金ヲ言渡サル可シ

故意ヲ以テ他人ノ動産ニ損害ヲ加ハタル
者

狂者又ハ猛烈ナル獸類ヲ放チ或ハ他人ニ
属スル家畜獸ヲ強テ迅速ニ馳驅シ或ハ
過分ノ荷物ヲ負ハシノ或ハ石又ハ其他
ノ堅キ物ヲ抛チ或ハ穴ヲ穿チ疎忽ニ目
リ他人ニ属スル家畜獸ヲ殺シ又ハ之ヲ
傷ケタル者

茅三百三十六條 正当ノ原由ナクシテ人民ヲ
警カス可キ害アル噪鬧ヲ為ス者又ハ官署ノ

命ニテ貼附セシ書ヲ故意ヲ以テ除去シ
或ハ破壊シタル者ハ五十ピアストルヨ
リ少ナカラス百ピアストルヨリ多カラ
サル罰金ヲ言渡サレ且ツ三日ヨリ少ナ
カラス一週ヨリ多カラサル禁錮ヲ言渡
サル可シ

第三百三十七條 他人ニ属スル繞田ヲ為シ又
ハ植附ヲ為セシ地或ハ穀作及ヒ其他土地ヨ
リ生スル産物ノアル地或ハ葡萄園、園庭内ニ
於テ已ノ所有スル獸類ノ草ヲ食フヲ知リ之
ヲ止メサル者ハ亦五十ピアストルヨリ少ナ
カラス百ピアストルヨリ多カラサル罰金ヲ
言渡サル可シ

第三百三十八條 前條ニ記スル各地ニ於テ已
レノ獸類ニ草ヲ食ハシムル為メ故ラ之ヲ引
入レシ者ハ三月ヨリ少ナカラス八月ヨリ多
カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第三百三十九條 商店、倉庫、市場ニ於テ贗造ノ
度量ノ具ヲ用ヒ或ハ法律上ニ定メタル以外
ノ度量ノ具ヲ用ヒタル者ハ五十ピアストル

ヨリ少ナカラス百^レピアストル^レヨリ多カラサ
ル罰金ヲ言渡サル可シ○又右ノ度量ノ具ハ
之ヲ没収ス可シ

茅三百四十條 左ノ犯人ハ五十^レピアストル^レヨ
リ少ナカラス百^レピアストル^レヨリ多カラサル
罰金ヲ言渡サレ且ツ三日ヨリ少ナカラス一
週ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル
可シ

道路街巷散步場又ハ其他公同資益ノ為メ
毀ケタル場所ヲ毀損シ又ハ之ヲ侵奪シタ
ル者

定リタル事柄、誣証ヲ人ニ帰スルニ非ス
シテ私ニ人ト喧争シ又ハ人ニ不敬ヲ加ヘ
シ者

給規則

茅三百四十一條 若シ犯罪ノ模様裁判後ノ宥

恕ヲ得可キモノタル時ハ左ノ如ク其刑ヲ輕

減ス可シ

若シ其罪ノ死刑ニ當レル時ハ無期ノ徒刑ニ

處シ又更ニ輕減シテ有期ノ徒刑ニ處スル

ヲ得可シ

若シ其罪ノ無期ノ徒刑ニ當レル時ハ有期ノ

徒刑ニ處シ又更ニ輕減シテ有期ノ繫獄ノ刑

ニ處スルヲ得可シ

若シ其罪有期ノ徒刑又ハ無期ノ繫獄ノ刑ニ當レル時ハ有期ノ繫獄ノ刑ニ處シ又更ニ輕減シテ二年ヨリ少ナカラサル時間禁錮ノ刑ニ處スルヲ得可シ
若シ其罪無期ノ追放ノ刑ニ當レル時ハ有期ノ追放ノ刑ニ處シ又更ニ輕減シテ一年ヨリ少ナカラサル時間禁錮ノ刑ニ處スルヲ得可シ

若シ其罪有期ノ追放ノ刑、有期ノ繫獄ノ刑、無期ノ官位職務剝奪ノ刑、民権剝奪ノ刑、當レル時ハ六月ヨリ少ナカラサル時間禁錮ノ刑ニ處ス可シ

若シ其罪ノ輕罪ナル時ハ法律上ニ定メシ其罪ニ當レル最輕ノ刑ヨリ更ニ重キ刑ヲ言渡ス可カラス又禁錮ノ刑期ヲ其最輕ノ刑期ヨリ更ニ減シ或ハ唯罰金ノミヲ言渡スヲ得可シ但シ之レカ為メ其刑ヲ註誤ノ刑ヨリ更ニ輕カラシム可カラス
若シ其罪ノ註誤タル時ハ其刑法律上ニ定メシ其罪ニ當レル最輕ノ刑ヨリ更ニ重キ

トナカル可ク又之ヲ輕減シテ五^トピアスト
ルヨリ少ナカラサル罰金ヲ言渡ス^トヲ得
可シ

埃及法
刑法草案終



